

TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>藤井： 藤井未莉佳です。 さあ、3月に突入しましたね。花粉シーズンですが、どうですか？。</p> <p>田村： そうですね。鬼のような花粉症なので、本当に辛いし、 しかもコロナウイルスもある、マスクが手に入らない。 同じマスク5日目なんですよ、今日。</p> <p>藤井： えっ！</p> <p>田村： たまたまこないだスタッフに貰ったやつを使いまわして。</p> <p>藤井： 私のあげます！靴の中に入ってるの、あげます！</p> <p>田村： ホンマに手に入らへんから。 花粉症やから、今までこんなの持ち歩かへんかったのに。</p> <p>藤井： おしゃれなの持ってるなあ～と思って。</p> <p>田村： 前にファンの方から頂いたやつ。</p> <p>藤井： マスク、5日目なんですか？ ちょっと衝撃的ですよ。</p> <p>田村： もうかなり毛羽立ってきて。</p> <p>藤井： 芸能人の方なのに、マスク買えないんですか？</p>

田村：

マスク、芸能人やから買いやすい！なんて無いでしょ。
そんなん貰ったことないですよ、俺。
「これ、マスク買いやすいんで使ってください」って。

藤井：

吉本の裏ルートがあるのかなと思って。

田村：

無い無い。

藤井：

鞆から出します、あとで。ちゃんとマスクしましょう。
最近、コロナウイルスとか花粉とかで、外にいると
いろいろと「大丈夫かな？大丈夫かな？」って気が張ってるので、
家の中ぐらいはゆっくりしたいですよ。

田村：

そうですね。

藤井：

家は綺麗にしておこう！ということで、今回の特集では、
そんなお掃除をサポートしてくれる市内の企業に行ってきました。

TIME	内容
	<p>藤井 と、いうわけでやってきたのはこちら「ダスキンミュージアム」です。 ダスキンさんといえば、言わずと知れたお掃除の会社ですよね。 今回は私、お掃除大好き藤井が主婦代表としてレポートしてきます。</p> <p><u>ナレーション</u> 日本を代表するお掃除ビジネスのパイオニア「株式会社ダスキン」。 そんなダスキンさんが2015年に創業の地である吹田市に開設したのが こちらの「ダスキンミュージアム」です。 ここに来ればダスキンの歴史や最新情報が楽しみながら分かるんだとか。 今回は意外に知らない地元企業の秘密に迫ります。</p> <p><u>タイトル：「地元企業にお出かけしよう。ダスキンミュージアム」</u></p> <p>藤井： こんにちは。</p> <p>館長： こんにちは。</p> <p>藤井： よろしくお願いします。</p> <p>館長： ようこそ「ダスキンミュージアム」へ。 ダスキンミュージアム館長の岡本と言います。</p> <p>藤井： よろしくお願いします。 なんだかすごく可愛い入り口ですが、こちらはどんな施設なんですか？</p> <p>館長： こちらは「ダスキンミュージアム」といしまして、ダスキンのお掃除の ノウハウを展示している「おそうじ館」と、“あるスイーツ”を ご紹介しているミュージアムになります。</p> <p>藤井： スイーツね。今、もういい香りがすでに漂ってますね。</p>

館長：

そうですね。でも、藤井さんはお掃除が大好きってお聞きしておりますので、まずは2階の「おそうじ館」からご紹介したいと思います。
よろしくをお願いします。

藤井：

よろしくをお願いします。

ナレーション

ミュージアムの2階は日本初お掃除をテーマにした展示や体験ができる「おそうじ館」。「おそうじヒストリー」のコーナーでは古代からのお掃除の歴史解説や、時代ごとの掃除道具が展示されています。

館長：

ここから先は、ダスキンの歴史とかお掃除の進化とかを紹介するコーナーなんですけども、ところで藤井さん、ダスキンの名前の由来ってご存知ですか？

藤井：

えっ！？ 考えたこともなかったんですが、さっきから私、お掃除大好き大好きって言って、それが大好き、だいすき、ダスキ、ダスキ、ダスキ…になってるのかなあって思ったんですが。

館長：

違うんですね。
最初、創業者は「株式会社ぞうきん」にしようと思ったんです。

藤井：

ぞうきんの「キン」？

館長：

分かりやすく。ただ、やっぱり社員が「雑巾では恥ずかしい」ということでダストコントロール、ホコリの「ダスト」と雑巾の「きん」を合わせて「ダスキん」というネーミングにしたそうです。
良かったです。私も「ぞうきんミュージアム」の館長じゃなくて良かったです。

藤井：

ほんとですね。

ナレーション：

そして、こちらがダスキン創業時に華々しく登場した化学ぞうきん「ホームダスキン」です。

藤井：

「クスリのついたぞうきん」って書いてあります。

館長：

はい、そうなんです。ここには吸着剤が染み込ませてありまして、水を使わずに埃を綺麗に取ることができたんですね。

藤井：

お水とか冷たいですもんね。

館長：

そうなんです。

ナレーション

更に、当時では画期的な4週間ごとにクロスを交換するレンタルシステムを取っていたため、ぞうきんを洗ったりする手間がなく、主婦の間で大ヒット商品に。

館長：

このぞうきんとかモップの方は回収をしまして、それを洗浄工場で綺麗に洗います。洗浄した時に埃を沈殿させて、それを固めるんですね。「スラッジ」というんですけども、それをセメントの原材料とかにリサイクルして使うんです。

ナレーション

お掃除が楽になって埃までもリサイクルしてしまうなんて、ほんとすごいですよね。そして、科学ぞうきんは生活スタイルに合わせてクロスからモップへと進化し、現在は集めたゴミを吸い取ってくれる機能がついたものもあるんです。これは便利です。まさに、痒いところに手が届く、お掃除 NO1 企業ですね。

館長：

藤井さん、こちらが「おそうじスタジオ」といまして、一般的な家庭のリビングとかキッチンを再現してる場所で、お掃除のいろんな疑似体験をしていただいたり、掃除のいろんなヒントとかも書かれているそういう場所ですよ。

藤井：
知りたいです！

館長：
そうですね？ 藤井さん、お掃除はお得意なんですよ？

藤井：
得意かは置いといて、小さい子供がいるので今頑張っているところです。

館長：
そうですね。それでは一度、テーブルを使って拭き掃除を体験して
いただきたいと思います。

藤井：
はい。

ナレーション

やや不安がよぎりますが、私、頑張ってきました。
まず最初に、テーブルに埃が積もった状態を作ります。

館長：
ちょっとライトを照らしてみますね。

藤井：
はい。あ～、真っ白ですね。

館長：
真っ白ですね

ナレーション

汚れが見やすくなるライトを照らすと、ご覧の通り。

館長：
左半分を濡れ布巾で拭いてみてください。

藤井：
はい。テーブルは毎日拭いてるので任せてください。
拭き方ってことなのかな？ 四角いものを丸く拭くっていうふうにね、
いつも親に注意されているんですけど、こう、満遍なく。
だいぶ綺麗になってますね。あっ、うんうん、かなりいい感じ。

館長：

はい、綺麗になりましたね。

藤井：

綺麗になっちゃいました。

ナレーション

どうですか？ 見た目には汚れは残っていないですよね？

館長：

ライトをつけて見てみたいと思います。

藤井：

綺麗ですけどね、見た目は。

館長：

綺麗でしょ？

藤井：

ええっ！汚い！

館長：

拭き跡がしっかり残ってますよね。

藤井：

全然残ってるし。

館長：

これは埃が水分を吸って汚れに変わった状態なんですね。

藤井：

ええっ！

ナレーション

ちょっとびっくりしますよね、これは。

次に吸着材がついたダスキンモップで拭いてみます。

藤井：

下に落としていいのかな？ 下に落としちゃダメ？
下は下用のモップでね、下に落とした分は下用のモップで拭くので。
あっ！でも、しっかり吸着してますよ。

館長：

で、見てみましょう。

藤井：

あっ！

館長：

こっちには、拭き跡が残ってない状態ですね。
ですから、お掃除は部位と場所によって道具を変えたほうがいいですね。

藤井：

へえ～！

ナレーション

他にも、こちらのコーナーでは部屋の中に漂うハウスダストや埃を
目で見る事ができる場所もあるんです。
見てください、この埃！部屋にこんなに漂っているんですよ。
そして、そんな埃やハウスダストを撃退しようと、お掃除に熱い情熱を
降り注ぐダスキんさんが作ったアトラクションが。

館長：

それが、こちら「ダスキングラストバスターズ」です。

藤井：

お掃除のアトラクションですか？

館長：

そうなんです。楽しみながら家の中のハウスダストとか埃のことを学べる
シアターアトラクションになっています。

ナレーション

このアトラクションは、参加者がミクロの世界で埃やハウスダストを
撃退するシューティングゲームです。
ミクロの世界で迫ってくるゴミやダニは迫力満点なんです。

藤井：

もうやだ、無理だよ、これ～。

ナレーション

それぞれの敵に合わせた撃退法は、お掃除の知識として勉強できるようになっているんです。

リアルなんですよ、これ、かなり。

藤井：

いや～、もうハウスダストの恐ろしさが身にしみて分かって、
こういうアトラクションからも楽しんで学ぶことができるんですね。
本当に本当にしみました。

藤井：

さあ、1階に降りてきましたが、こちらは？

館長：

こちら、実はミスタードーナツの「ミストミュージアム」です。

藤井：

はい、待ってました！良い香りが漂ってたのは、ここからだんだんですね。

館長：

そうなんですよ。

藤井：

でも、お掃除とドーナツって関係ないように思うんですが。

ナレーション

そう！ダスキンとミスタードーナツが同じ会社って
知らない人も多いのではないのでしょうか？

館長：

実はダスキンは、日本でほぼ初期の頃からフランチャイズシステムって
いうのを導入したんですね。そのフランチャイズの勉強のために
創業者の鈴木清一がアメリカに渡米した際、こちらにおられます
ミスタードーナツ・オブ・アメリカのハリー・ウィノカーを紹介いただいて、
「こういう事業をなんとか日本に持ち帰れないか」ということで
1970年日本で第1号店をオープンするという運びになったんですね。

藤井：

お掃除がメインの会社だったのに、ドーナツを囲んでいる様子に感銘を受けて飛び込んだんですか。

館長：

はい。

ナレーション

創業秘話も知ることができる「ミスドミュージアム」は、とにかく可愛い仕掛けがいっぱい！おなじみポンデライオンのオブジェや、子供たちが店員さんになれるスポット、私たち世代には懐かしい歴代のノベルティグッズの展示コーナーまでありました。

藤井：

このお皿、懐かしいです。

館長：

懐かしいでしょ？

藤井：

これで実家でカレー食べてましたもん。

館長：

ここへ来られたお客様皆様がこの辺のグッズ見られて、「家にある～」とか「私もこれ持ってた～」とかという話をよくしてますね。

藤井：

可愛いキッチンがありますね。こちらは？

館長：

ここは「ミスドキッチン」といいます。ミスドミュージアムの中で一番人気のドーナツ手作り体験ができるスペースですね。

藤井：

ミスドのドーナツが、ここで作れるんですか？

館長：

作れるんです。

ナレーション

このミュージアムの一番人気の「ミズドキッチン」は、ドーナツ作り、トッピング、お持ち帰りパッケージづくりと楽しさ満点。出来たてほやほやのドーナツが食べられるのも、ここだけの醍醐味です。参加は予約制ですが大人気ですので、余裕を持って申し込んでください。「なかなか予約が取れない」という人にもドーナツトッピングを体験できるコーナーがあるんです。

館長：

藤井さん、こちらが予約なしでもトッピング体験ができる「ドーナツワゴンミニ体験コーナー」になっています。

藤井：

楽しそうですね。

館長：

そうですね。

ナレーション

こちらではドーナツとトッピング、チョコレートを選んで、オリジナルのドーナツを作ることができるんです。体験料は1回200円です。

藤井：

では「ドーナツボールトッピング体験」オリジナルのドーナツ作りたいと思います。ちょっと可愛らしくしたいので、この苺のチョコを使って田村さんへの愛を込めてハート型に、作りたい。あっ、ちょっとハートが。愛が溢れるハート。愛がこんなに。わっ！良いですね！これは良いですね！

ナレーション

作り方、自由なんですよ。

藤井：

これは、ちょっと金運アップということで黄色を使わせていただきます。金運アップドーナツ。とにかく愛情を込めて作りましたので、これスタジオに持っていきます。田村さん、食べてください！！

TIME	内容
	<p>藤井： ということで、持ってきました！ドーナツのお土産です。 愛を込めて。受け取ってくださいよ。</p> <p>田村： ええ…。</p> <p>藤井： これ、オリジナルドーナツなんですよ。</p> <p>田村： 見てたわ！</p> <p>藤井： 金運を込めて、愛情を込めて。</p> <p>田村： こんなにも白いココナツの粉が付かへんことってあります？</p> <p>藤井： 確かに…。</p> <p>田村： こっちがすごいですもん。</p> <p>藤井： 途中でディップしてもいいかなって。</p> <p>田村： ディップ！？ うまいことやらへんと付かへんやつでしょ？</p> <p>藤井： 全然食べたそうじゃない…。なかなか口に入れてくれない…っていう。</p> <p>田村： あ、食べていいんですか？</p> <p>藤井： どうぞ！バレンタインにしては遅くなっちゃったんですけど。</p>

田村：

なんか汚いですよ。

藤井：

こっちは金運アップです。

田村さんがもう一度、出版でひと花咲かせられるように。

田村：

お金には困ってますからね。じゃあ、これから頂いていいですか。

うわ！旨い！

藤井：

やっぱりドーナツ美味しい？

田村：

ちゃんとミスドやわ。すげー！ミスドのドーナツや。

藤井：

そうなんですよ。誰が作っても美味しくトッピングできるんですよ。

田村：

これいいね。

藤井：

いいですか！？よかった～。

田村：

こんなんできて、こんだけちゃんとミスドの味やったら楽しいね。

藤井：

そうですよね。よかったです。ホッとしました。

田村：

見た目は失敗してると思うけどね。

藤井：

そうですね。お子様連れがたくさん来てたんですが、大人でも懐かしいコーナーとかがあって楽しめましたし、本当に家族全員で楽しめます。

田村：

ホンマに幅広く楽しめるね、あれは。

藤井：

あと、お掃除の勉強もすることが出来て、お掃除体験ですごくお掃除が上手になりました。下に落としちゃいけないってことも学びましたし。

田村：

あれは衝撃映像でしたけど。

藤井：

ダスキンミュージアムに行けばお掃除のやり方とかを学ぶことができるので、家に帰ってからすごく掃除しましたよ。
掃除のやる気が出る！

田村：

いいね！やる気出すために行くのも良いかもしれんね。勉強して。

藤井：

子どもを連れて行ったら、きっと子どもが掃除好きになるから、子どもに掃除させることができるなって思いました。

田村：

考え方がせこいねん。なんなんですか、自分が掃除せんでいいように子どもを掃除好きにするって。

藤井：

掃除好きな子どもが育つ。「ドーナツを食べに行こう」って言いつつお掃除の勉強もさせることが出来るな～って思いましたね。

田村：

まあ、いいですね。確かに。

藤井：

本当に良かったです。

田村：

大事ですからね。

藤井：

ここでプレゼントのお知らせです。
ダスキンミュージアムでしか手に入らない限定グッズを5名様に
プレゼントします。こちらです。クリアファイルとメモ帳とペン。
ハガキまたはメールに番組の感想と必要事項を書いてお寄せください。
詳しくは、ご覧のとおりです。みなさま、ぜひお待ちしております。

田村：

いつでも行けるんですか？ダスキンミュージアムには。

藤井：

ダスキンミュージアムはいつでも行けます。
予約が必要なミストキッチンとかは大人気ですぐに予約がいっぱい
になっちゃうので、早めをお願いします。

田村：

なるほど。わかりました。

藤井：

今回は「ダスキンミュージアム」をご紹介しました。

TIME	内容
<h2>田村裕のすい散歩</h2>	
	<p>田村： どうも！すい散歩の時間でございます。 今日は北千里駅前取材をしたいと思います。 今日はジャジャーン『春と言えば』。 こちらをテーマにみんなに聞いていきたいと思います。 春と言えば、僕が一番言いたいのはですね、 『暖くなるのみんなが思ってるより遅いから、薄着になるの ちょっと早いで』。これをもう本当に言いたい。 毎年、寒の戻りってのがあるんですよ。 一回暖かくなってもう一回寒くなるんです、絶対に。 それやのに、もうジャンパー脱ぐヤツがおるんですよ。 ほんで『寒い。今日失敗したわ』て言うんですよ。 今年暖冬やから分かりませんが、僕が言いたいのは、 ジャンパー脱ぐの早いヤツ多い！ さあ、街の方はどんな意見出てくるんでしょうか。聞いていきたいと思います。</p> <p>田村： どうもこんにちはー、どうも。シェイコム観てくれてるんですか？</p> <p>女性1： はいはい。田村さんの番組『お元気ですか』観てます。</p> <p>田村： うわっ！お母さんの方から番組名出ましたよ。 奇跡！ありがとうございます。どうですか番組観て感想とかは？</p> <p>女性1： いろんな吹田の地域の情報とか、あーゆーの知れていいです。</p> <p>田村： あ～嬉しい！</p> <p>女性1： 大阪の吹田市民として共感が…</p>

田村：

うわ！嬉しい！これは最高の褒め言葉でございます。
ちなみになんですけど、ちょっと今年は暖冬ではございますが、
こんな質問をみんなにしまして、『春と言えば』という質問。

女性1：

やっぱり桜。

田村：

おお～いいですね～。やっぱり桜ですか。

女性1：

その団地に住んでるからいつも。

田村：

見られてます？あそこ綺麗ですよ。
吹田でも桜を満喫できる。ありがとうございます。
これからも番組応援してくださいね。

女性1：

はいはい。

田村：

ちなみに僕の横にいてる女性のアシスタントの方いらっしゃるんですけど
その方のお名前わかりますか？

女性1：

えっとね、上はちょっと忘れたけど末莉佳さん。

田村：

おお～！素晴らしい！末莉佳ちゃんのイメージはどうですか？

女性1：

出産して復帰しはったでしょ？

田村：

めっちゃ観てくれてますやん！マジですやんか。

田村：

すみませーん、こんにちは一。

女性2：

寒いところ…。

田村：

そうなんですよー。今日はどちら行かれるんですか？

女性2：

今お買い物に、主人と一緒に。

田村：

あ、そうですか。

女性2：

主人、先行った。

田村：

ほんまや、全然待つ気配ないですね（笑）

女性2：

ごはんさえ食べれたらそれでいい。

田村：

ごはんさえ食べれたらそれでいい（笑）

『春と言えば』一言もらっていいですか。

女性2：

名前。

田村：

名前！？

女性2：

『はるな』さんとかいたはりますもんね。

田村：

あ～なるほど！そういう、たしかにね、春が付く名前の人多いですもんね。
ちなみにお母さん…。

女性2：

高木です。高木たえこです。

田村：

高木たえこさん、全然『春』付かへんやん（笑）

女性2：

妙な女です。

田村：

ありがとうございます。

ご主人が全然…あ、やっと止まってくれた。

すみません。どうもありがとうございます。

田村：

今日みんなにこんなこと聞いてまして、『春と言えば』というテーマで質問してるんです。なにかお姉さんにとって春…。

女性3：

春と言えば、ふきのとう。

田村：

ふきのとう！いいですねー。季節のもの美味しい。

女性3：

美味しい、食べたい。

田村：

毎年食べられるんですか？

女性3：

いや食べたいけどなかなかねー。最近外にもあんまり生えてないし、買うとなったらちょっと高いし、でも天ぷらとかね、ふき味噌とかね。

田村：

ふき味噌美味しいですよねー。

結構料理難しくないですか？ふきのとうって、調理…。

女性3：

そうですね、あんまり…自己流なんで適当です。

天ぷらだったら別にね。

田村：

別にあく抜きとかしなくていいんですか？

女性3：
天ぷらはもうそのまま。

田村：
そのまま洗って揚げるだけ？

女性3：
はい。

田村：
えー、そうですか。美味しそうですね。

女性3：
美味しいですね。

田村：
じゃあ今年は美味しいふきのとうに…。

女性3：
いや～なかなか巡りあわないですね。

田村：
あわないですかね。あえるように祈っときます。

田村：
カップルさんですか？

夫婦：
夫婦です。

田村：
ご夫婦ですか？えー若い夫婦ですね。おいくつですか？

夫：
28。

妻：
26です。

田村：

若いなー。なんでそんな早よ結婚したん？何年目ですか？

妻：

1年目です。

田村：

もう新婚で。幸せじゃないですかー。おめでとうございます。

どこが好きになったんですか？

ご主人は奥さんのどこが好きになったんですか？

夫：

かわいらしいところ。ごはんも上手です。

田村：

お～いいね。こんなかわいいのにごはん上手なん？ずっこー。ええなー。

ちなみに奥さんはご主人のどこが？

妻：

優しいところ。

田村：

どういう時に優しさ感じますか？

妻：

記念日とかの時に花束買ってきてくれたり。

田村：

そんな風に見えへんののにー！花束買うの？オシャレー！

夫：

頑張っって…。

田村：

ああそう！えらいねー！プロポーズはどこでしたんですか？

夫：

白浜？

田村：

白浜で？どんいうシチュエーション？白浜の。
いきなり言ったん？旅行中ってことですよ？

夫：

旅行中ですね。

田村：

遊びに行っていて…覚えてるクセにー！

夫：

恥ずかしい。指輪を…指輪っていうかダイヤモンドをパカっと。

田村：

ええー！指輪っていうかダイヤモンド？原石？

夫：

金属アレルギーやから。

田村：

あー！もうめっちゃ優しいねほんまに。
指輪やと荒れちゃうから、何かこう違う形で使おうというので、
形だけちゃんと示してっていう。

夫：

はい。

田村：

もしかしてあれ？ちゃんと膝ついてとか？

夫婦：

三角座り。

田村：

三角座り！一緒に二人とも三角座りで？かわいいなー！初々しくて。
そんなお二人！新婚のお二人に質問です。『春と言え』？

妻：

引っ越し？

田村：

吹田にお住まいですか？

妻：

いや、今考えてるだけで…。

田村：

吹田に住む事考えてるんや。

夫：

住もうかなって思ってた。

田村：

直近の話やな。もっと大きいくくりで欲しかったのに。

今年の春と言えやそれ。

じゃあ是非とも吹田に決めていただいて。

寒い中ありがとうございます。お幸せに。

TIME	内容
	<p>田村 続いては市内で行われた出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。</p> <p>藤井： 今回は2月前半の話題をお届けします。</p>
	<p><u>ナレーション</u> 2月4日、山手小学校で「吹田くわいパン作り」がおこなわれました。</p> <p>これは、吹田くわいの栽培・調理体験を通して、食育や地域の歴史・文化について学ぶ総合学習の一環としておこなわれたもので、4年生およそ90人が吹田くわいを使ったパン作りに挑戦。始めにおこなわれたパンの生地づくりでは、市内のパン職人に教えてもらいながら、小麦粉やパン酵母などの材料を、ヘラを使って混ぜていきました。</p> <p>出来上がった生地を寝かせて膨らんだら、今度は生地の上にスライスした吹田くわいを載せていきます。子どもたちは自分で育てた吹田くわいを思い思いにトッピングしていきました。</p> <p>トッピングが完成し、お手伝いのお母さんたちがパンを焼きあげ教室に運びと、お待ちかねの試食タイム。子どもたちは、出来たてのパンの香や味を楽しみつつ、自分たちで育てた吹田くわいの味を噛みしめていました。</p> <p>(インタビュー) 最初育てたときと、今を感じると、何かすごいおいしかった。</p> <p>くわいの味はポテトみたいで、ちょっと苦い感じもあるけどおいしいです。</p> <p>自分で最初から作ったから、すごくおいしかったです。また作りたいです。</p>

ナレーション

2月11日、大阪学院大学で、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストで同大学特任教授の高橋尚子さんによる「チームQランニングクリニック」が開催されました。

これは、大阪学院大学の「東京2020応援プログラム」と、吹田市教育委員会の「夢と希望を広げる出会い事業」の一環として開催されたもので、市内の中学校陸上部員など63人が参加しました。

ランニングクリニックでは、高橋さんが現役時代に欠かさずやっていた体操や、筋力トレーニング、走り方の基本についてのレクチャーがおこなわれ、参加した中学生たちは、トップアスリートの練習方法を自分のものにしようと、一心不乱にトレーニングしていました。

(インタビュー)

腹筋をやったのと、あとお尻の筋肉を鍛えたやつが良かったです。

体の一つ一つの部分をどう動かせるかっていうのも意識できたので、そこがとても良かったです。

高橋尚子さんの教えてもらったものを続けて、記録が伸びていったら良いなと思いました。

(高橋尚子さんインタビュー)

私もこの大阪学院大学に通っている4年は、この吹田市を駆け回って私の陸上の土台の場所かなっていうふうにも思います。

ランニングや陸上が伸びる、そんな環境が整っている場所だと思います。

皆さんには秘められた力がたくさんあって、オリンピックや

また日本代表を目指すだけの力があると思うので、是非その芽を

しっかりと成長させてもらって、大きく飛び立ってもらいたいと思います。

是非自信を持って突き進んで頑張ってください。

TIME	内容
	<p>藤井： 以上、「吹田のトピックス」でした。ここでお知らせです。 吹田市では新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応として、市主催、共催の市民が参加するイベントや集会を、2月20日から3月末まで原則中止又は延期することにしました。イベントなどの中止・延期に関する情報は市のホームページでご確認ください。</p> <p>田村： これはしょうがないですね。感染拡大を防ぐことが今は一番ですし、実際、感染してしまった時に、あとどれくらいのこと起こるかってまだデータが取れてない状態で怖いですから、ご理解いただいて、楽しみにしていた方は残念ですけど、しょうがないということで。僕も仕事無くなりまくってます、今。辛いです。</p> <p>藤井： 家でお掃除する期間にしましょう。 そして、3月後半号でしっかり新型コロナウイルス感染症についてお伝えする予定ですので、ぜひそちらもご覧ください。</p> <p>田村： 確かに分からんこといっぱいあるからね。教えてほしい。</p> <p>藤井： 次回号で特集する予定です。</p> <p>田村： これは必見でございます。 それではまた次回もご覧ください。さようなら～！</p>